(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3548592号
(P3548592)
(45)発行日　平成16年7月28日(2004.7.28)　(24)登録日　平成16年4月23日(2004.4.23)

(51)Int.Cl.[7]	F I		
A61F 13/56	A61F	13/18	350
A61F 13/15	A61F	13/18	340
A61F 13/472	A61F	13/18	360

請求項の数 6　(全 8 頁)

(21)出願番号　特願平5-261376
(22)出願日　平成5年10月19日(1993.10.19)
(65)公開番号　特開平7-112008
(43)公開日　平成7年5月2日(1995.5.2)
審査請求日　平成12年3月27日(2000.3.27)

(73)特許権者　000001959
株式会社資生堂
東京都中央区銀座７丁目５番５号
(74)代理人　100068191
弁理士　清水　修
(72)発明者　那須　美恵子
神奈川県横浜市港北区新羽町１０５０　株式会社資生堂製品研究所内
(72)発明者　井下　喜好
神奈川県横浜市港北区新羽町１０５０　株式会社資生堂製品研究所内

審査官　上條　のぶよ

最終頁に続く

(54)【発明の名称】生理用ナプキンおよびその製造方法

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

透水性の表面シートと非透水性の防漏シートとの間に、表面シートおよび防漏シートよりも幅狭な体液吸収性の吸収層を介装してナプキン本体を形成し、このナプキン本体の防漏シート側の外面にショーツ内面への止着部を形成するとともに吸収層の両側の防漏シートおよび表面シートの一部を外方に膨出して膨出部とし、この膨出部の表面シート側の両側に、ナプキン本体とは別体に形成した両側折返片を止着固定し、この両側折返片の外面側にショーツ外面への貼着部を設け、使用時に、両側折返片を防漏シート側に折返し可能に形成した事を特徴とする生理用ナプキン。

【請求項２】

裏面にショーツ内面への止着部を設けた非透水性の防漏シートの表面に体液吸収性の吸収層を載置し、次に、この吸収層の表面に透水性の表面シートを載置した後、ショーツ外面への貼着部を外面側に位置して設けた、ナプキン本体とは別体の一対の両側折返片を、両側外方を吸収層の両側から外方に突設して表面シートの上面に載置し、この載置後に、両側折返片の外方、表面シート、防漏シートを加熱溶着固定した後、ナプキン本体の両側に両側折返片の外方を固定する膨出部を設けて、ナプキン本体の外周を目的形状にカットして行う事を特徴とする生理ナプキンの製造方法。

【請求項３】

一対の両側折返片の貼着部は、一枚の離型紙によって被覆する事を特徴とする請求項１の生理用ナプキン。

【請求項４】
一対の両側折返片の貼着部は、両側折返片の表面に離型処理面を形成し、この離型処理面を折返して被覆する事を特徴とする請求項１の生理用ナプキン。
【請求項５】
一対の両側折返片の貼着部は、一枚の離型紙によって被覆する事を特徴とする請求項２の生理用ナプキンの製造方法。
【請求項６】
一対の両側折返片の貼着部は、両側折返片の表面に離型処理面を形成し、この離型処理面を折返して被覆する事を特徴とする請求項２の生理用ナプキンの製造方法。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【産業上の利用分野】
本発明は、ショーツに固定して使用する生理用ナプキンおよびその製造方法に係るものであって、使用時のズレを防止するとともに生理用ナプキンの製造を簡易に行おうとするものである。
【０００２】
【従来の技術】
従来、生理用ナプキンには、ショーツの内面と外面の双方に止着固定を可能としたものが知られている。この生理用ナプキンは、ナプキン本体の防漏シート側の外面にショーツ内面への止着部を形成する。また、ナプキン本体の両側を一体的に突出してウイング部を形成し、このウイング部の内面側にショーツの外面への貼着部を形成する。そして、この止着部と貼着部をショーツの内外面に止着して、生理用ナプキンをショーツに固定し、使用時のズレを防止しようとするものであった。
【０００３】
また、上記の生理用ナプキンは、使用時まで衛生状態を維持する目的で、表面シート側を内側にしてナプキン本体を折曲している。そして、ナプキン本体の両側に設けたウイング部を、吸収層を載置している防漏シートの表面側を避けて、凹凸のない防漏シートの外面側に折り返している。そして、ナプキンを使用する場合、ナプキン本体の防漏シート側に設けた止着部をショーツの内面に止着した後、ウイング部の貼着部をショーツの外面に止着するものである。
【０００４】
【発明が解決しようとする課題】
しかしながら、上記の生理用ナプキンは、防漏シートの外面側に止着部を被覆してウイング部を折り返しているため、ショーツの内面に止着部を止着しようとすると、折り癖の付いて邪魔になるウイング部を一旦外方に広げてから、止着部をショーツの内面に止着する必要があり、ショーツへの固定に手間が掛かるものであった。
【０００５】
また、上記の生理用ナプキンは、ナプキン本体の両側から幅広のウイング部を、表面シート、防漏シート等と一体的に形成するため、ウイング部の突出幅で表面シート、防漏シートを準備しなければならず、ウイング部を形成しない方式のナプキンに比し、製造時に使用する資材の幅を大きくする必要があった。また、上記の生理用ナプキンは、ナプキン本体の両側の一部からウイング部を突出するのみであるから、カットして無駄に廃棄される資材の量が多く、製造コストが割高になる欠点を有していた。
【０００６】
本発明は上述のごとき課題を解決しようとするものであって、ショーツの内面と外面の双方に止着固定を可能とする生理用ナプキンに於て、ショーツへの固定に手間を掛ける事がなく、簡易な止着固定を可能にする。また、資材を有効に利用して、廉価な製品を得ようとするものである。
【０００７】
【課題を解決するための手段】

本発明は上述のごとき課題を解決するため、透水性の表面シートと非透水性の防漏シートとの間に、表面シートおよび防漏シートよりも幅狭な体液吸収性の吸収層を介装してナプキン本体を形成し、このナプキン本体の防漏シート側の外面にショーツ内面への止着部を形成するとともに吸収層の両側の防漏シートおよび表面シートの一部を外方に膨出して膨出部とし、この膨出部の表面シート側の両側に、ナプキン本体とは別体に形成した両側折返片を止着固定し、この両側折返片の外面側にショーツ外面への貼着部を設け、使用時に、両側折返片を防漏シート側に折返し可能に形成して成るものである。

【０００８】

また、上記発明を実施する製造方法の発明は、裏面にショーツ内面への止着部を設けた非透水性の防漏シートの表面に体液吸収性の吸収層を載置し、次に、この吸収層の表面に透水性の表面シートを載置した後、ショーツ外面への貼着部を外面側に位置して設けた、ナプキン本体とは別体の一対の両側折返片を、両側外方を吸収層の両側から外方に突設して表面シートの上面に載置し、この載置後に、両側折返片の外方、表面シート、防漏シートを加熱溶着固定した後、ナプキン本体の両側に両側折返片の外方を固定する膨出部を設けて、ナプキン本体の外周を目的形状にカットして行う事を特徴とする。

【０００９】

また、一対の両側折返片の貼着部は、一枚の離型紙によって被覆しても良い。

【００１０】

また、一対の両側折返片の貼着部は、両側折返片の表面に離型処理面を形成し、この離型処理面を折返して被覆しても良い。

【００１１】

【作用】

本発明は上述の如く構成したものであるから、生理用ナプキンを使用するには、まず、股下まで降ろしたショーツの内面に、ナプキン本体の防漏シート側の外面に設けた止着部を止着する。このナプキン本体は、止着部を両側折返片で被覆していないから、止着部を直ちにショーツの内面に止着でき、使用者の手間を掛ける事がない。

【００１２】

次に、両側折返片を膨出部から外方に折返し、ナプキン本体の両側から突出させ、ショーツを引き上げて着用する。そして、ショーツの股部の両側から突出する両側折返片を防漏シート側に折返し、貼着部をショーツの外面に止着する。

【００１３】

このように、生理用ナプキンは、ショーツの内面と外面の双方に固定するものであるから、ショーツの股部に一体的にフィットして固定でき、使用者の激しい運動等にもズレを生じにくく、安定した装着が可能となる。

【００１４】

また、従来方法のウイング部とは異なり、両側折返片をナプキン本体とは別体の資材で形成している。そのため、表面シート、防漏シート等に、ウイング部の突出幅を考慮する必要がなく、ナプキン本体からウイング部を一体的に形成する従来方式の生理用ナプキンに比し、幅の小さい資材の使用が可能となり、資材を有効に利用して、廉価な製品を得る事が可能となる。

【００１５】

また、一対の両側折返片の貼着部を、一枚の離型紙によって被覆すれば、一回の剥離操作によって、一度に貼着部を露出する事ができ、簡便な使用が可能となる。

【００１６】

また、一対の両側折返片の貼着部を、両側折返片の表面に離型処理面を形成し、この離型処理面を折返して被覆すれば、離型紙が不要となるから、使用時のゴミの発生量が少なく、トイレ内のゴミの散乱を防止できる。

【００１７】

【実施例】

以下本発明の実施例を図面に於て説明すれば、(１)は防漏シートで、ポリエチレン等の非透水性の素材により形成し、裏面に、図４に示す如く、ホットメルト等によってショーツ内面への止着部(２)を形成し、この止着部(２)を、使用時まで離型シート(３)で剥離可能に被覆する。

【００１８】

また、防漏シート(１)は、表面に、図４に示す如く吸収層(４)を載置する。この吸収層(４)は、コットン、パルプ、吸収性高分子等から成り、防漏シート(１)よりも幅狭に形成する。

【００１９】

また、防漏シート(１)および吸収層(４)の表面に、図５に示す如く表面シート(５)を載置する。この表面シート(５)は、メッシュシート、不織布等の透水性の素材により形成し、吸収層(４)よりも幅広に設ける。

【００２０】

また、この表面シート(５)の上面に、図６に示す如く防漏シート(１)、表面シート(５)とは別体の一対の両側折返片(６)を載置する。この両側折返片(６)は、ポリエチレン等の非透水性の素材により形成する事が可能である。また、両側折返片(６)は、両側の外方を吸収層(４)の両側から外方に突設して位置する。また、両側折返片(６)は、対向する内方の外面側に、ホットメルト等による貼着部(７)を形成し、この貼着部(７)を、一枚の離型紙(８)によって使用時まで被覆する。このように形成すると、離型紙(８)を一回剥離操作する事によって、一度に貼着部(７)を露出する事ができ、簡便な使用が可能となる。

【００２１】

また、上記の如く、表面シート(５)の上面に両側折返片(６)を載置した後、吸収層(４)を除く、両側折返片(６)の外方部(１１)、表面シート(５)、防漏シート(１)を、図６に示す如く、外周溶着部(１２)により加熱溶着固定し、形成目的のナプキン本体(１３)を形成する。この場合、両側折返片(６)に対応する吸収層(４)の両側を、一定の非固定間隔(１４)を介して外方に膨出して加熱溶着する。

【００２２】

次に、ナプキン本体(１３)の外周溶着部(１２)の外周を、図６に示す２点鎖線に沿って目的形状にカットし、図１に示す如く、吸収層(４)の外周にフラップ(１５)を形成する。また、両側折返片(６)に対応するナプキン本体(１３)の両側をカットする時には、両側折返片(６)の外方部(１１)を固定する膨出部(１６)を外方に膨出して形成する。

【００２３】

上述の如く構成したものに於て、生理用ナプキン(１７)を使用するには、まず、止着部(２)から、図１、図２に示す離型シート(３)を剥離する。次に、股下まで降ろしたショーツ(１８)の内面に止着部(２)を止着する。

【００２４】

この場合、ナプキン本体(１３)は、両側折返片(６)を表面シート(５)側に止着固定している。そのため、ショーツ(１８)の内面に止着部(２)を止着する場合、ショーツ(１８)の内面と止着部(２)との間を、両側折返片(６)で遮る事がなく、使用者の手間を掛けず、ショーツ(１８)への簡易な固定が可能となる。

【００２５】

次に、貼着部(７)から離型紙(８)を剥離する。そして、両側折返片(６)を外方に折返し、ナプキン本体(１３)の両側から突出させる。そして、ショーツ(１８)を引き上げて着用し、ショーツ(１８)の股部の両側から突出する両側折返片(６)をショーツ(１８)側に折返し、貼着部(７)を、図３に示す如くショーツ(１８)の外面に止着する。

【００２６】

このように、生理用ナプキン(１７)は、ショーツ(１８)の内面と外面の双方に固定するものであるから、ショーツ(１８)の股部に一体的にフィットして固定でき、使用者の激しい運動等にもズレを生じにくく、安定した装着が可能となる。

【００２７】

また、両側折返片(６)を、ナプキン本体(１３)とは別個に形成している。そのため、表面シート(５)、防漏シート(１)等に、ウイング部の突出幅を考慮する必要がなく、ナプキン本体(１３)からウイング部を一体的に形成する従来方式の生理用ナプキンに比し、幅の小さい資材の使用が可能となり、資材を有効に利用して、廉価な製品を得る事が可能となる。

【００２８】

また、上記実施例では、貼着部(７)を、一枚の離型紙(８)によって被覆した。しかし、他の実施例に於ては、両側折返片(６)の表面に、シリコン等を塗布して離型処理面(１０)を形成し、図７、図８に示す如く離型処理面(１０)と貼着部(７)との間を折返す事によって、貼着部(７)の被覆を行う。このように行うと、離型紙(８)を不要とするため、使用時のゴミの発生が少なくなり、トイレ内のゴミの散乱を防止できる。

【００２９】

【発明の効果】

本発明は上述の如く構成したものであるから、生理用ナプキンは、ショーツの内面と外面の双方に固定する事ができる。そして、この固定は、両側折返片を表面シート側に止着固定しているため、ショーツの内面と止着部との間に両側折返片が位置せず、使用者の手間を掛けず、ショーツへの簡易な固定が可能となる。

【００３０】

また、表面シート、防漏シート等によってウイング部を一体的に形成する従来方式の生理用ナプキンに比し、資材の使用量が少なく、資材を有効に利用して、廉価な製品を得る事が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図１】両側折返片の貼着部を一枚の離型紙によって被覆したナプキンの平面図である。

【図２】図１のＡ－Ａ線端面図である。

【図３】使用状態を示す断面図である。

【図４】防漏シートに吸収層を載置した状態を示す製造過程の平面図である。

【図５】防漏シートおよび吸収層に表面シートを載置した状態を示す製造過程の平面図である。

【図６】表面シートの上面に両側折返片を載置した状態を示す製造過程の平面図である。

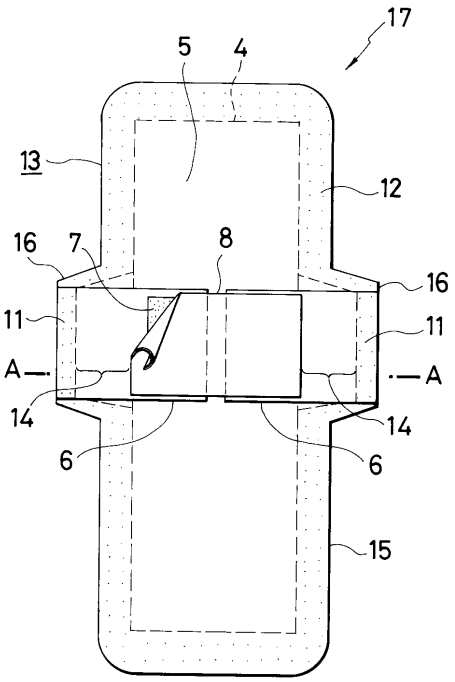
【図７】両側折返片を折り返して貼着部を被覆したナプキンの実施例の平面図である。

【図８】図７のＢ－Ｂ線端面図である。

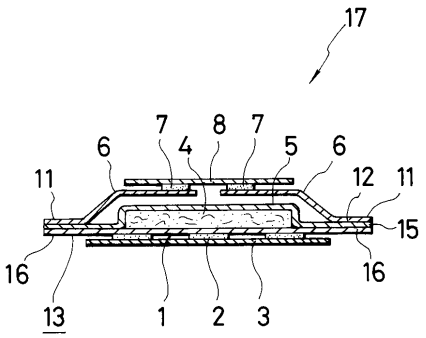
【符号の説明】

１　　防漏シート
２　　止着部
４　　吸収層
５　　表面シート
６　　両側折返片
７　　貼着部
８　　離型紙
１０　　離型処理面
１３　　ナプキン本体
１６　　膨出部
１８　　ショーツ

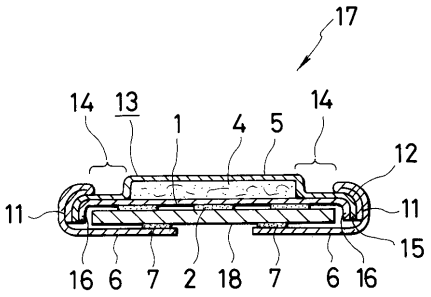
【図１】


17
5
4
13
12
16
7
8
16
11
11
A
A
14
14
6
6
15

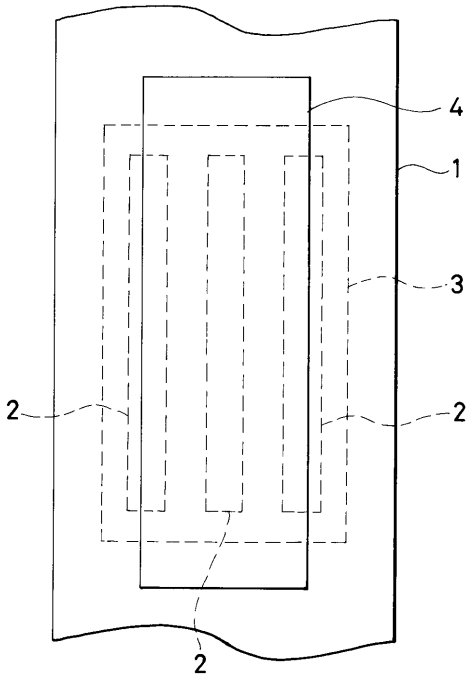
【図２】


17
6
7
4
8
7
5
6
11
12
11
15
16
16
13
1
2
3

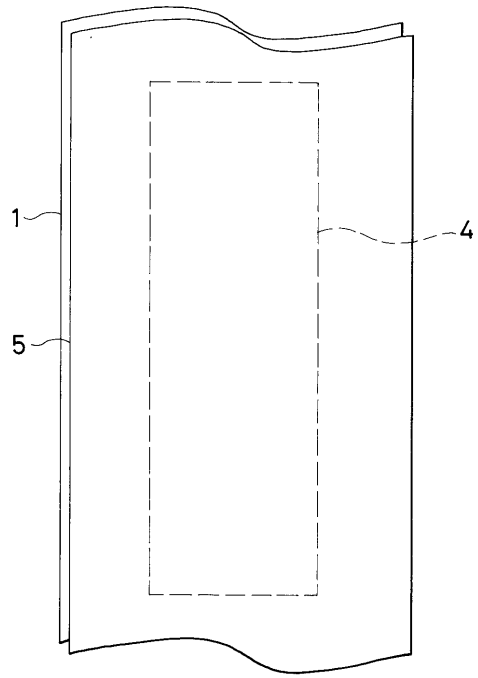
【図３】


17
14
13
1
4
5
14
12
11
11
15
16
6
7
2
18
7
6
16

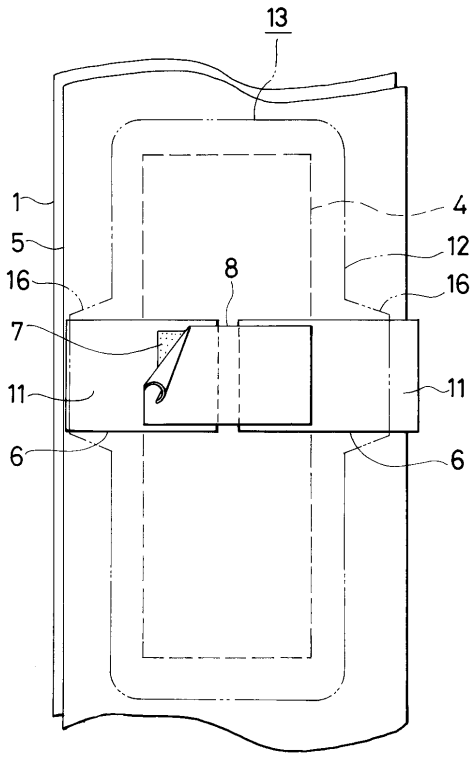
【図４】


4
1
3
2
2
2

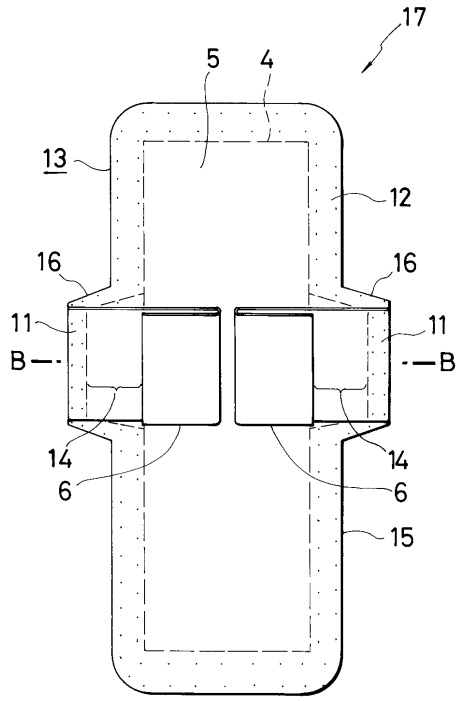
【図５】


1
4
5

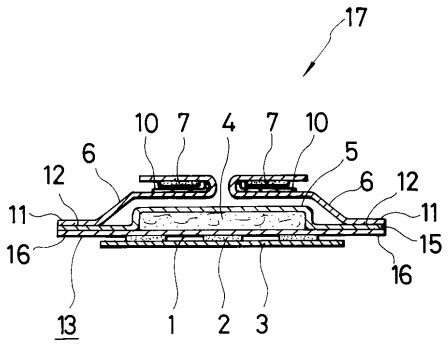
【図６】


13
1
4
5
12
16
8
16
7
11
11
6
6

【図７】


17
5
4
13
12
16
16
11
11
B
B
14
14
6
6
15

【図８】


17
10
7
4
7
10
6
5
12
6
12
11
11
16
15
16
13
1
2
3

フロントページの続き

(56)参考文献 特開平０５－２９３１３９（ＪＰ，Ａ）
特開平０６－０７８９５３（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
A61F 13/15-84